

まえがき

農林水産政策研究所では、平成 29 年度よりプロジェクト研究「我が国農産物の需要フロンティア開拓と新たなバリューチェーンの構築に関する研究」(平成 29 年度～令和元年度)を実施している。このプロジェクトでは大きく三つの課題に取り組んでおり、第 1 は地理的表示制度を対象とした高付加価値化に関する課題、第 2 は食料品アクセスに関する課題、第 3 の課題として国内農林水産物の輸出振興に関する課題である。本資料は、この第 3 の課題について主要な輸出品目について国内産地・関連産業への影響や今後の輸出促進のための条件について検討・分析を行ったものである。

我が国の食料消費は、高齢化の進行や人口減少に伴い、量的には今後大きく減少していく局面を迎えることが予想される。一方、世界の食市場については、人口増加や所得向上の下で需要が拡大していくと見込まれており、国産農水産物の海外への進出を図る絶好のチャンスである。このような中で、我が国農林水産業の持続的な発展には、今後の内外の食市場の需要動向を的確に踏まえつつ、生産・加工・流通過程における新たなバリューチェーンの構築によって、多様な海外需要も取り込んだ国産農水産物の需要確保が欠かせない。

本資料では、主要な輸出品目（青果物、茶、水産物）について、産地・加工業者を対象に輸出市場開拓の経緯、近年の輸出の動向や今後の方向性等について現地調査等によって得られた情報を整理・分析するとともに、輸出促進による国内産地・関連産業への影響、今後の輸出促進のための条件について検討・分析を行っている。本資料が、生産者はもとより関係する生産者団体、流通業者、自治体等での支援策等の検討に活用いただければ幸いである。

最後に、本資料の基礎となるヒアリング調査にご協力頂いた関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

令和 3 年 3 月
農林水産政策研究所
輸出チーム